

礼拝プログラム

2016年12月25日

司会: 福島兄 奏楽: 西井姉 通訳: 町田姉

前奏 Prelude

賛美 Hymn

使徒信条 * Apostle's Creed

牧会祈禱 Pastoral Prayer

感謝献金 Offering

メッセージ Sermon

『星を見上げた者達』

“The men who looked up the stars.”

賛美 Hymn

頌栄 Doxology

祝禱 * Benediction

*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: ラッド姉、大野姉

グリーター: プロクター姉、ランドール姉

来週、1日の合同礼拝

司会: 西井兄 奏楽: 大倉姉 通訳: 大倉師

メッセージ: 「人生の秘訣は一つしかない」

賛美: LP237、LP85

アッシャー: デイッチ姉、テリクス姉

グリーター: 井口姉、町田姉

お知らせ

本日の礼拝後の予定: コーヒーアワー

メリークリスマス！

■今日の礼拝ようこそいらっしゃいました。心より歓迎します。今日は礼拝後に何のプログラムもありません。コーヒーがありますので、よかったですらどうぞ！

■大倉牧師は今週木曜日、イクイパーカンファレンスのセミナーのために出かけます。

■今週土曜日、午後七時より年末感謝集会があります。恒例のうどんとそばを楽しみましょう！今年も2017年の目標となる御言葉を祈りつつ、求めて、その御言葉を年末感謝祈禱会でシェアし合ひましょう。

■今週土曜日、午前11時より当教会にて英語部のガイ・キヨイ兄のメモリアルサービスがもたれます。

■来週の日曜日は元旦です。この日の礼拝は10時から始まり、日英合同礼拝で、礼拝以外の集会はありませぬ。礼拝後に記念撮影をします。

■新年聖会の申し込みは一度、締め切りましたが、年内はレイトフィーなしで受けつけます。参加を希望される方は英子さんに申込書をお渡しください。

■先週火曜日(20日)、初音姉の夫であるハンク兄が主のもとに召されました。天来のお慰めと平安が初音姉、ご家族と共にありますようにお祈りください。

■教会のインターネット、電話回線がまだ修復しておらず、復旧のめどもたっていない状態です。このことゆえに教会への電話がしばらく通じない状態になっていますので、連絡が必要な方は牧師宅にお電話ください。

■今年も一年間、皆さんと共に礼拝を捧げることが出来ましたことを心より感謝しております。新年も主にあつてよろしくお祈りします。元旦礼拝でお会いしましょう！

今週の予定

29日(木) 大倉師イクイパーカンファランスへ

31日(土) 年末感謝集会 7pm-

1日(日) 日英合同元旦礼拝 10am-

客不恵

『彼はしえたげられ、苦しめられたけれども、口を開かなかった。ほふり場にひかれて行く小羊のように、また毛を切る者の前に黙っている羊のように、口を開かなかった』(イザヤ53章7節)

なぜ主の御使いはベツレヘムの役人や祭司ではなく、羊飼いにあらわれメシアの誕生を彼らに告げたのでしょうか。羊飼いの一日というものを黙想してみました。

ベツレヘムの気候は私達の住むサンディエゴの気候ととてもよく似ています。すなわち日中の日差しは暑く、しかし朝晩は気温がぐんと下がります。羊飼いはそんな冷え込む朝、日が昇らないうちに、先祖から伝えられている緑の野辺へと羊を導きます。そして、まとまった草を見つけると、その所で羊は自由に食し、満腹したら身を横たえます。そこに十分な牧草があるなら、その所がしばしば彼らの宿营地となりました。

羊飼いは羊を狙う猛獣や盗人から羊を守り、感染症にかかったり怪我をしている羊がいらないのかと羊への注意深い観察を怠りません。時には羊の出産にも立ち会い、必要であればその手助けもしたことでしょう。そんな関わり合いにより羊は羊飼いとつて家族のような存在となっていたことでしょう。

しかし、時にはそんな手塩をかけて育てた羊を自らの手で屠らなければならないというようなこともあったことでしょう。その時の悲しみと痛みというのは羊飼いが体験するもので、町の役人や祭司には知ることができないものです。彼らにその誕生が告げられた幼子は後に私達の罪の贖いとして捧げられる神の子羊なるイエスであられたゆえに、神様はあえてその想いを少しでも共有できる羊飼いにメシアの救いを告げたのではないか、そんなことを思いめぐらします。